

岐阜市の海洋教育について

1 はじめに

本事業は、「森・川・海」の繋がりから学ぶ環境教育学習推進事業として、令和元年度から実施されている3年計画の事業です。（令和2年度は、取組2年目となります。）

生命の源である海を起点に、より幅広く多様な視点から地域内外の環境を捉え、探究する力を育むこと、また、SDGsが定める持続可能な開発目標の中のNo.14「海の豊かさを守ろう」への理解を深めていくことを目的として行われています。

2 事業内容

これまで岐阜市内の小・中学校では、環境学習の一環として、長良川など市内を流れる河川を主な学習フィールドとし、鮎の稚魚の放流や水生生物調査、水質検査、川漁の見学などを行ってきました。本事業では、岐阜市の中心を流れる長良川だけに留まらず、水源地付近の森や、河口付近の海を含め、「森・川・海」の繋がり、あるいは、尊い水の循環を意識した環境教育学習を展開しています。

本事業は、(公財) 笹川平和財団等が主催する「海洋教育パイオニアスクールプログラム」を活用し、3年間の助成を受けています。このプログラムでは、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターとも連携しており、海洋教育の参加校の取組に関して、センター所属の研究者の方々より指導や助言を頂きながら進めています。

3 活動参加校

推進校として、長良小学校・長良中学校の2校、また、協力校として西郷小学校（理科）・明郷小学校（社会）・境川中学校（理科）・長森南中学校（社会）の4校、計6校が参加しています。

4 教育課程特例校への申請

海洋教育を進めるにあたり、長良小学校、長良中学校については、教育課程特例校の申請を行い、「つながる海洋科」を新設しました。生活科や社会科など、一部の時間を「つながる海洋科」の時間として、海洋教育にじっくりと取り組むことができる時間を設定しました。

「つながる海洋科」の時間数

【長良小学校】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
生活科	10	10				
総合的な学習の時間			15	15	20	20
時間数	10	10	15	15	20	20

【長良中学校】

	1年	2年	3年
国語	5	4	
社会	5	4	3
理科	4	6	8
音楽			3
美術			1
技術・家庭	1	1	
総合的な学習の時間	15	15	15
時間数	30	30	30

5 推進校の取組

【長良小学校】

「わたしたちの住んでいる長良には、美しい金華山や長良川が近くにあつてとっても素敵な地域だよ」「レジ袋が無料ではなくなったり、海の環境問題がニュースなどで流れたりしているけれど、海のないわたしたちとどんな繋がりがあるのだろうか」長良に住んでいる子どもたちの「故郷を自慢に思う気持ち」を足場としながら、海との繋がりや環境問題について体験的に学ぶことで、より広い視野をもって環境学習を深めていけることを願い、つながる海洋科の全校テーマ【海とつながるわたし】を設定しました。

各学年におけるつながる海洋科の学習テーマ及び活動フィールドを、他教科との関連を考慮し段階的かつ探究的に広げていくことで、子どもたちが「森・川・海」の繋がりとともに、自分との繋がりも感じながら環境学習を深めていけるよう取り組んでいます。



【1年生】天神川での生き物みつけ



【4年生】長良川での環境調査



【6年生】太平洋での漂着物調査

全校テーマ	海とつながるわたし						
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支
学年テーマ	天神川にはどんな生き物があるのかな	天神川の上流はどんな様子なのかな	川の水は、どこからやってくるのかな	海と長良川はどんなつながりがあるのかな	山や川とわたしの生活はどんなつながりがあるのかな	海とわたしたちの未来を考えよう	※学年のテーマに応じて学習を進める
活動フィールド	天神川	天神川上流	金華山	長良川	長良川上流(郡上市)	長良川下流(臨海部)	

【長良中学校】

「岐阜県には海がないから、海は自分たちとは関係のないものだ」と思っている人がいるかもしれません。未来をきり拓いていく中学生の視点で「長良川」と「海」とのつながりを調べたり体験したりすることを通して、岐阜県の誇りである長良川を守るために、そして日本の豊かで美しい海を守るために、自分たちができること、やらなければいけないことを考えながら学習を進めています。

<長良中の活動内容や今後の予定>

令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 長良川中流での水質調査、生き物観察、清掃活動 海洋プラスチックについての講話
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 長良川上流についての講話 長良川上流についての調べ学習 長良川下流の現地調査(可能であれば)
令和3年度(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 香川県小豆島周辺の海の水質調査、生き物観察 「美しく豊かな海を守るために自分たちができること」というテーマでの追究学習



【中学生】長良川での水質調査



【中学生】長良川での清掃活動

6 協力校の取組

市内の4校を協力校に指定し、理科と社会の学習において、海洋教育の視点を位置付けたカリキュラム授業案を作成しています。

理 科	西郷小学校	4年生(1時間)	5年生(7時間)	6年生(7時間)	
	境川中学校	1年生(8時間)	2年生(7時間)	3年生(13時間)	
社 会	明郷小学校	3年生(2時間)	4年生(2時間)	5年生(10時間)	6年生(2時間)
	長森南中学校	地理(10時間)	歴史(7時間)	公民(4時間)	

7. 年間スケジュール

開催月 (今年度)	予定	内容
4月 (4月)	海洋教育パイオニアスクールプログラム推進校打ち合わせ会 推進校 (長良小学校・長良中学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・推進校の海洋教育に関する年間指導計画と活動内容の確認 ・予算の執行計画
4月 (7月)	海洋教育パイオニアスクールプログラム協力校説明会 協力校 (明郷小・西郷小・長森南中・境川中)	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育を位置付けた岐阜市の学習指導計画 (コンパスカリキュラム) の見直しと新規作成の計画 ・コンパスカリキュラムをもとにした海洋教育の授業実践の計画
6月 (新型コロナ感染症拡大のため中止)	環境教育推進研修	<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・森川海が一体となった自然保全の大切さを学び、森川海の繋がりといった「俯瞰的な視点」での環境教育の推進を目指す。 <p><指導者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本キリバス協会代表理事 ケンタロ・オノ氏 <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間担当者もしくは環境教育担当者
夏～秋 (2月)	成果報告会 (東京) 参加 第8回全国海洋教育サミット参加	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育推進校 (長良小学校・長良中学校) の実践を発表する。 ・オンライン発表会 小学校の部A 岐阜市立長良小学校 【海とつながるわたし ～「森・川・海」の繋がりから学ぶ環境学習～】 中学校の部 岐阜市立長良中学校 【「森・川・海」の繋がりを見つめ、 未来を切り拓く私たち】
1月 (令和3年1月16日)	令和2年度 岐阜市の教育公表会 分科会にて実践発表 (じゅうろくプラザ)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度「岐阜市の教育」公表会の分科会において、市内の教職員等を対象に、海洋教育の取組に関して発表を行った。 (コロナ感染症拡大防止のため、会場と発表者を Teams で繋いだオンライン発表形式で実施) ・岐阜市の海洋教育の概要説明 ・長良小学校と長良中学校の実践発表 ・海洋教育センターの先生方からの指導と講評
3月	海洋教育のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育を位置付けた岐阜市の学習指導計画 (コンパスカリキュラム) を統合型校務支援システム (Te-comp@ss) にデータを掲載し、市内の教職員が授業で活用できるようにする。 ・推進校、協力校の活動の足跡をまとめる。
随時	海洋教育に関する絵画や作文等の「作品募集」の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・JAMSTEC 海洋の夢コンテスト等、海洋教育 (森・川・海) につながる作品募集の案内を、市内各小中学校に紹介する。

令和2年度 「岐阜市の教育」

公表会

～さらなる教育立市の深化～



岐阜市教育委員会

全体会・分科会

令和3年 1月16日(土)

午前の部 **全体会** (9:30~12:15) ホール

9:00 ~ 9:30	受付
9:30 ~ 9:35	開会
9:35 ~ 9:50	挨拶 岐阜市教育大綱の説明 (岐阜市長 柴橋 正直)
9:55 ~ 10:35	いじめ対策監実践発表 (岐阜市内小・中学校)
10:35 ~ 10:55	いじめ防止対策推進条例の説明 (岐阜市教育長 早川 三根夫)
11:05 ~ 12:15	ディスカッション (いじめ問題対策委員、教育委員、いじめ対策監、中学生がこれからの学校を語り合う)
パネリスト	大河内 祥晴 様 (岐阜市教育委員会いじめ問題対策委員会 委員) 後藤 東洋士 様 (岐阜市自治会連合会 会長) 川島 政樹 様 (岐阜市教育委員) いじめ対策監 (岐阜市立学校 いじめ対策監) 中学生 数名 (岐阜市立中学校 生徒代表) 司 会 鹿嶋 成子 (岐阜市教育委員会 学校指導課 副主査)

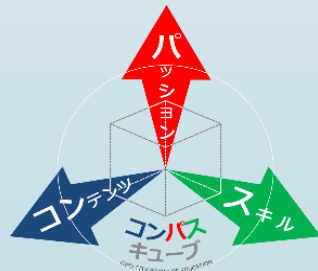
午後の部 **分科会** (13:30~15:30) じゅうろくプラザ 旧徹明小学校

A 部会	B 部会	C 部会	D 部会
ホール (250人)	5階会議室 (45人)	5階会議室 (45人)	5階会議室 (35人)
GIGAスクール構想 ~タブレットの活用~ ・岐阜市ICT活用推進委員会 ・岐阜市教育委員会 学校指導課 石川 明 ・岐阜市立 徹明さくら小学校児童 (Microsoft Teamで) ~「NTT docomo」による実践事例紹介~	SDGsの推進 ~海洋教育パイオニアスクールプログラム~ ・東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター 特任教授 日置 光久 特任准教授 丹羽 淑博 特任研究員 進士 淳平 ・岐阜市教育委員会 学校指導課 松波 志味 ~推進校による実践発表~ ・長良小 ・長良中	ARROWSによる 業務改善ツール ~「学校の健康診断」~ ・(株)ARROWS 井澤 萌 ・岐阜市教育委員会 学校指導課 小澤 飛鳥	法教育推進事業 ~弁護士による法教育出前授業~ ・岐阜県弁護士会 法教育委員会 委員長 小森 正悟 ・岐阜市教育委員会 学校指導課 後藤 靖弘 ~今年度実践校による実践発表~ ・鶉小学校 酒井 裕英 教諭
E 部会		F 部会	
旧徹明小学校 体育館 (100人)		旧徹明小学校 アクティブルーム (40人)	
不登校特例校「草潤中学校」 ・岐阜市教育委員会 不登校特例校設置準備室 室長 井上 博詞 堀場 徹		STAR アセスメント ・岐阜大学大学院 吉澤 寛之 准教授 ・岐阜市教育委員会 学校指導課 鬼頭 五月 ~事例発表~ ・長森南中学校 高橋 直浩 教頭	

SDGsの推進

～海洋教育

パイオニアスクールプログラム～



岐阜市教育委員会 学校指導課

本日の日程

1. 開会の言葉
2. 講師紹介・ごあいさつ
3. 海洋教育を進めるにあたって
4. 推進校による実践発表 ①長良小学校
質疑応答・実践に対する講評
5. 推進校による実践発表 ②長良中学校
質疑応答・実践に対する講評
6. 岐阜市の海洋教育全体に関する指導・講評
7. 閉会の言葉



講師（助言・講評）

東京大学大学院 教育学研究科
附属海洋教育センター

特任教授	日置光久	様
特任准教授	丹羽淑博	様
特任研究員	進士淳平	様

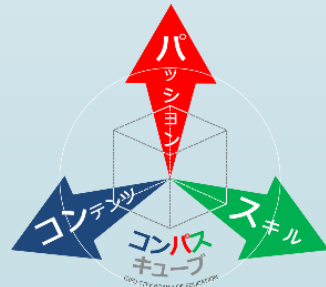
SDGsの推進

～海洋教育パイオニアスクールプログラム～

海洋教育

(「森・川・海」の繋がりから学ぶ環境教育学習推進事業)

を進めるにあたって



岐阜市教育委員会 学校指導課

「森・川・海」の繋がりに学ぶ

環境教育学習推進事業（海洋教育）



「森・川・海」の繋がりにから学ぶ

環境教育学習（海洋教育）

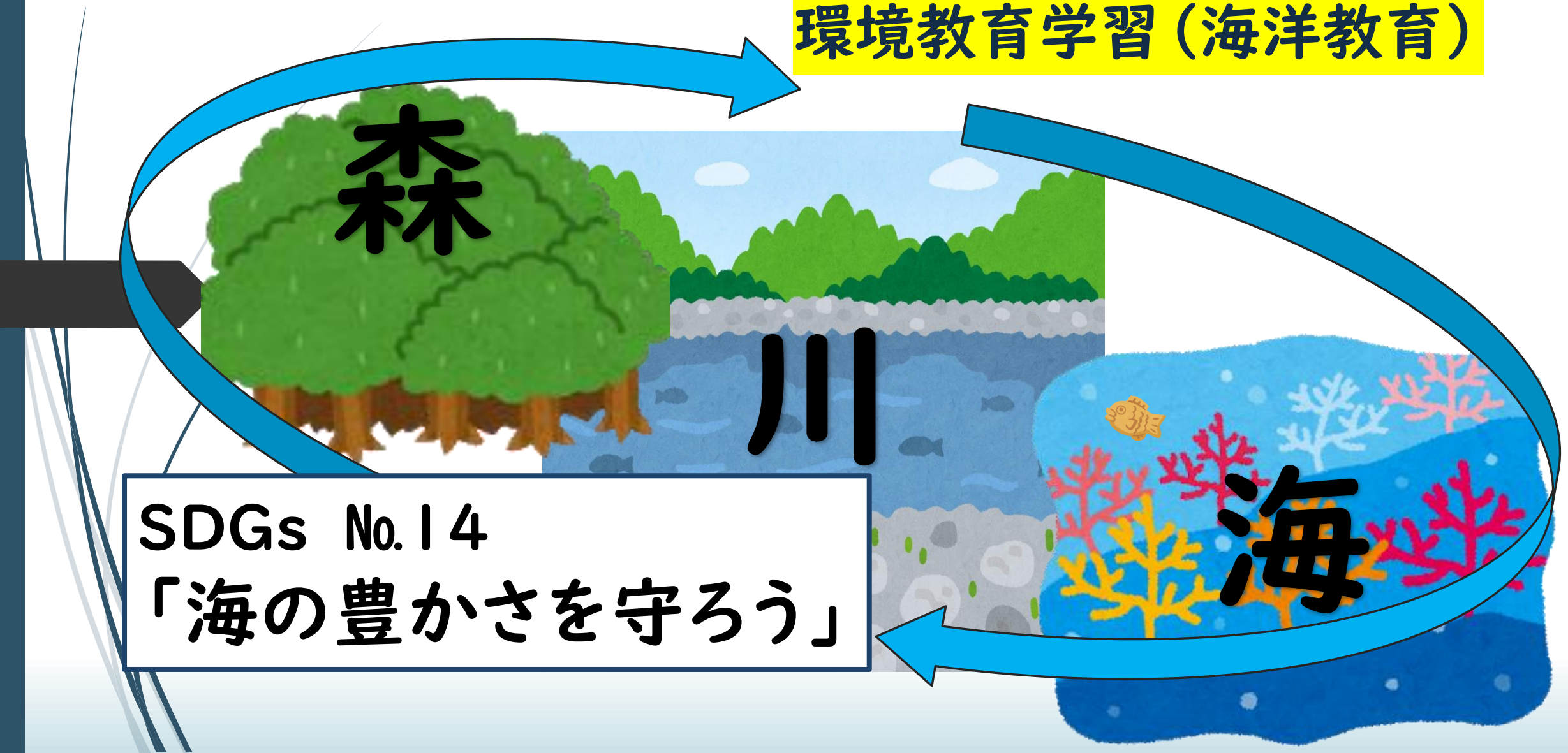
森

川

海

SDGs No.14

「海の豊かさを守ろう」



海洋教育「森・川・海」の繋がりに学ぶ環境教育学習推進事業

令和元年度 → 令和2年度 → 令和3年度
(1年目) (2年目) (3年目)



海洋教育 パイオニアスクールプログラム

東京大学大学院教育学研究科
附属海洋教育センター



海洋教育 活動参加校

推進校(2校)

長良小学校

長良中学校

協力校(4校)

西郷小学校・明郷小学校

境川中学校・長森南小学校

推進校 長良小学校・長良中学校

教育課程特例校へ申請

「つながる海洋科」を新設

【長良小学校】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
生活科	10	10				
総合的な学習の時間			15	15	20	20
時間数	10	10	15	15	20	20

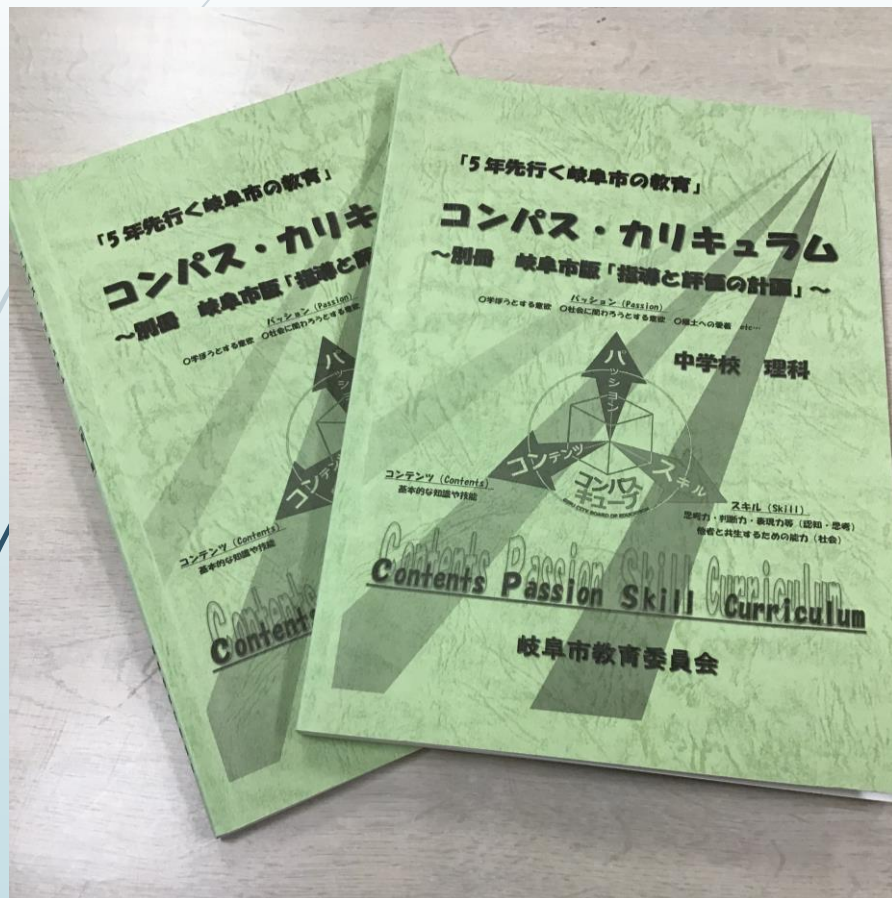
【長良中学校】

	1年	2年	3年
国語	5	4	
社会	5	4	3
理科	4	6	8
音楽			3
美術			1
技術・家庭	1	1	
総合的な学習の時間	15	15	15
時間数	30	30	30

具体的な実践内容については、「3. 実践発表①②」の中で紹介

協力校 西郷小学校・境川中学校(理科)
明郷小学校・長森南中学校(社会)

海洋教育の視点を位置付けた授業案を作成(コンパスカリキュラム)



理 科		社 会	
*		小 3	2時間
小 4	1時間	小 4	2時間
小 5	7時間	小 5	10時間
小 6	7時間	小 6	2時間
中 1	8時間	中 地理	10時間
中 2	7時間	中 歴史	7時間
中 3	13時間	中 公民	4時間

海洋教育の視点を位置付けた授業案の例(コンパスカリキュラム)

【単元名】 台風と天気の変化 ③・4/4	
【本時のねらい】 台風による災害や災害に対する備えについて調べ、災害に備えることの重要性を考え、日常生活に活用することができる。	
学習活動	評価規準 / 指導・援助
1 話し合い ○台風による災害について知っていることを話し合しましょう。 ・洪水、崖崩れ、建物の倒壊、農作物への被害、交通や通信網の遮断など ○(晴天時の海と、台風が接近している海の写真を比較提示し)これらに、どのような違いがあるでしょうか。 【海洋】	【ICT】岐阜市のホームページから、洪水ハザードマップを閲覧できる。 (http://www.city.gifu.lg.jp/12626.htm)
2 課題提示 台風による災害から生命を守るために、何ができるのか調べよう。	<海洋教育の視点> 晴天時と台風接近時の海の様子を比較することで、海の変化と環境や人との科川有りについて気付くことができるようにする。
3 調査 ○台風による災害を防ぐために、社会や地域でどんなことに取り組んでいるのか調べましょう。 ・台風情報や洪水情報の提供。 ・護岸やダム。 ・ハザードマップの作成 など ○台風による災害から生命を守るために、私たちにできることを調べましょう。 ・ハザードマップを参考にして、どのような災害が起こる可能性があるか確認する。 ・テレビやインターネットで最新の情報を集める。 ・外出を控える。	【指導・援助】 教科書 P67 の写真を基に、それらの災害が自分たちの地域で起きたらどうなるかを考えさせ、災害に対する備えの必要性を自らの問題として捉えさせる。
4 まとめ ○災害から生命を守るために、これからの暮らしの中で自分は何をしていきますか。 ・非常持ち出し袋を準備する。 ・ハザードマップで、どこでどのような災害が起こるか確認する。	【評価規準】◆思考・表現◆ 台風による災害や、災害に対する備えについて調べたり考えたりして、災害に対して備えることの重要性に気づき、自分の考えを表現している。 【評価場面・評価方法】 ・発言・記録

【単元名】 台風と天気の変化 3・④/4	
【本時のねらい】 台風による災害や災害に対する備えについて調べ、災害に備えることの重要性を考え、日常生活に活用することができる。	
学習活動	評価規準 / 指導・援助
1 課題提示 台風による災害から生命を守るために、何ができるのか交流しよう。	・資料編p.184のワークシートを活用する。
2 交流【対話的な学び】 ○台風による災害から生命を守るために、私たちにできることは何かを考え、グループでまとめてみましょう。 ・ハザードマップを参考にし、どのような災害が起こる可能性があるか確認する。 ・テレビやインターネットで最新の情報を集める。 ・外出を控える。	【指導・援助】 具体的な行動を考えさせ、防災・減災のために自ら判断し、自分で自分の生命を守る意識を高めるようにする。 ○調べたことを基に、取り組みと期待される効果を話し合う。
3 まとめ 台風による災害から身を守るために、備えを行ったり、情報を集めたりして自分の身は自分で守れるようにすることが大切である。	【評価規準】◆関心・意欲・態度◆ 台風による災害や、災害に対する備えについて調べたり考えたりしたことを基に、進んで日常生活で活用しようとしている。 【評価場面・評価方法】 ・発言・行動観察
4 理科のひろば ★○教科書 P69 の「理科のひろば」を読んで、最新情報を収集し、活用することの重要性を捉える。 ○台風によって恩恵を受ける場合があることにも触れ、自然の二面性に気付かせる。 【海洋】	<海洋教育の視点> 台風による恩恵も考えることで、海岸の変化による美しい景観や、海水温の変化による生物の多様化等につながっていることに気付かせる。

本日の日程

1. 開会の言葉
2. 講師紹介・ごあいさつ
3. 海洋教育を進めるにあたって
4. 推進校による実践発表 ①長良小学校
質疑応答・実践に対する講評
5. 推進校による実践発表 ②長良中学校
質疑応答・実践に対する講評
6. 岐阜市の海洋教育全体に関する指導・講評
7. 閉会の言葉

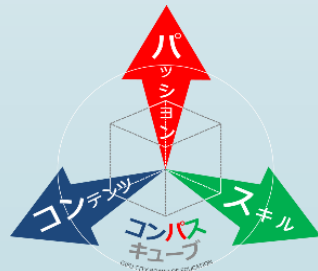
本日の日程

1. 開会の言葉
2. 講師紹介・ごあいさつ
3. 海洋教育を進めるにあたって
4. 推進校による実践発表 ①長良小学校
質疑応答・実践に対する講評
5. 推進校による実践発表 ②長良中学校
質疑応答・実践に対する講評
6. 岐阜市の海洋教育全体に関する
指導・講評
7. 閉会の言葉

SDGsの推進

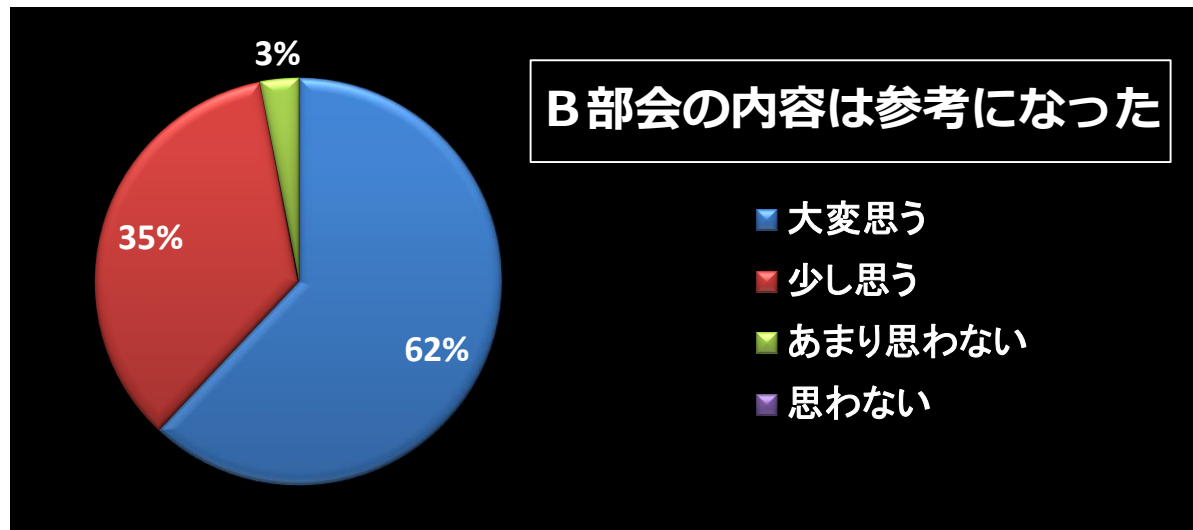
～海洋教育パイオニアスクールプログラム～

ご参会ありがとうございました。



岐阜市教育委員会 学校指導課

3 B分科会 (SDGsの推進) 参加者のアンケート結果 (n=29)



【自由記述 (主なもの)】

- ・子どもたちの頑張りがとても伝わってきた。川から海へつながっていること、私たちが大切にしていかなければならないことを、子どもたちがしっかり考えていることが、素晴らしかった。子どもたちへのご指導、お疲れ様でした。大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・海なし県の岐阜県が海との繋がりや環境教育について取り組んでいくことに意味があると感じたい。子どもたち自身が実際に見たり体験したりしたことは、環境問題を自分ごととして考えていかななくてはならないと深く考えていくことに繋がると思った。
- ・長良小と長良中のみなさんの発表が大変すばらしく、どんな取組をされたのかがよく分かった。ありがとうございました。
- ・岐阜市は長良川や鶺鴒いなどがあり、SDGsの取組が教材として開発しやすく、実践も可能だと感じた。ただ、学校の独自性がある教材化を図りたいと思った。長良小、長良中の発表がとても分かりやすかった。
- ・岐阜市に海洋教育に取り組んでいる学校があることが分かった。

【自由記述（主なもの）】

- ・海の豊かさを守るために、小学校や中学校でどのように、どんな領域で学習を進めていくのか大変参考になった。ただ学習を仕組んでいく意欲を高めるために教員向けにというか大人向けにどれだけ海が危険な状態にあるのか、このままいくと将来どんな状況になるのか最新の情報を教えてもらえると尚更ありがたかった。
- ・SDGsの中の一つの問題だけを取り上げるのではなく、他の問題も関わらせて考えたり、他教科とも関わらせながら多面的に考えたりする大切さが分かった。子どもが学びたい、知りたいという意欲をもち、課題追究する実践内容が勉強になった。
- ・子どもたちの発表が素晴らしかった。
- ・総合学習の実践では、子どもたちが海の問題を自分たちの身近なことと結びつけ自分たちの問題としてとらえて考えられていてすばらしかった。素敵な発表をありがとうございました。
- ・子どもたちだけであれほど話ができることに大変驚いた。あそこまで話ができたのはそれまでに先生方のきめ細かい指導があったからだと思う。海洋教育を海のない岐阜県が行うにあたり大変参考になった。
- ・各学校の取組は、すばらしいと思った。勤務校での取組にどのように生かしていくのか。考えていきたい。
- ・子どもたちが自主的に調べていて、すばらしいと思った。
- ・実践発表では、調べ学習、調査、「森、川、海」の繋がりなど、河川を中心とした学習から水の循環に目を向けていたことが探究的に学習が進められ、素晴らしかった。SDGsの推進に関わっては、身近な問題であるため、実体験を用いた視点での展開が有効であるのではないかと感じた。今回、B部会に参加させていただきありがとうございました。
- ・実践発表がとても具体的でよく分かった。発表もよかった。
- ・長良中学校と長良小学校のすばらしい実践報告を拝聴し、大変勉強になった。講師の先生がおっしゃってみたいように、どちらの学校も動機や目的が明らかにされており、探究的に学ばれていたところがすごかった。長良小学校は子どもたちのプレゼンが練られていたし、長良中学校は生徒一人ひとりの力を感じた。SDGsの考え方について、本校においても子どもたちに考えさせていきたい。ありがとうございました。
- ・長良小学校、長良中学校の発表を聞き、具体的な実践が分かり、大変勉強になった。特に長良小学校のプレゼンテーションは、純粹に地域を大切に思う気持ちが伝わり、小さい頃から海のない場所に住んでいてもできることを考える大切さが分かった。プレゼンの仕方も聞く人をひきつける素晴らしいものだった。本校でも6年生を中心にSDGsについて学習を進めているので、参考にしたいと思った。また東京大学の先生のお話や、参考文献も、今後に活かせそうだと感じた。ありがとうございました。

【自由記述（主なもの）】

- ・子どもたちの発表が素晴らしかった。今年度は実践が難しかったと思うが、今年度までの学習の積み重ねを感じた。
- ・小学校の発表も中学校の発表も、子どもたちが自分たちのやったことがよく分かっていて、課題と課題がきちんと繋がっていて素晴らしいと思った。これは講師の先生方のご高評とうり、いざ指導する立場になると、幅広い情報を集めた上で、よく考えて計画しなければならなくなり、大変だと思う。反対に教師側のレールに乗せてしまっただけでは子どもたちの主体的な学びにもならなくなってしまう。どの項目も繋がっているという講師の方のお話もあったので、項目に縛られずにつなげていくことが大切なのかなと思った。SDGsという言葉は最近テレビでもよく聞き、大事な視点を育てる取組だと思った。
- ・近年少しずつ世の中に浸透してきたSDGsだが、比較的自然の多い岐阜県や岐阜市の住人として、何ができるか、何を考えていくべきなのか、興味深く発表を聴かせていただいた。児童生徒の皆さんの発表に、大学の先生がさらにどう考えるのか 今の思いを尋ねられ、調べて終わりではなくて、その先さらに考える余地があることを実感した。発表者の皆さん ありがとうございました。
- ・身近な環境を生かした学習を進めていくことの大切さを感じた。子どもたちが講師の方々を取組について質疑応答をする姿が素晴らしいと思った。自分たちの学びに自信を感じた。ありがとうございました。
- ・児童生徒の実践が、自分たちで疑問をもって研究し、学んだことを活かしていく姿勢に感心した。岐阜県は海との直接的な関わりがないのだが、山や川が海へとつながっていくことを体験を通して学ぶことの大切さが分かった。
- ・探究的にやることが大事。今回は海の豊かさをテーマにした環境教育だったが、環境一本でなく、流域に暮らす人々の営みや社会科・理科の見方・考え方を働かせ、知識を活かし絡めるという多面的・連鎖的な太く幅のある学習を構築することが何より大切だと感じた。ありがとうございました。
- ・身近な川の調査から、長良川の上流、中流、下流の水質検査、海のゴミについて調べるなど、体験的な調査の中から新たな課題をもち、それを追究していくという繋がりや深まりがあったことが素晴らしかった。子どもの思考の流れが自然であった。本校でもSDGsをテーマに来年度からの総合的な学習の時間のカリキュラムを練り直しているところ。大変参考になった。ありがとうございました。